

横浜エフエム放送株式会社 番組審議会報告書

開催年月日 令和6年2月15日 木曜日 15時00分～15時50分

出席者 番組審議会委員：宝田博士委員長、勝治雄委員、品田英雄委員、横尾典克委員、
長谷川 篤委員、

F M ヨ コ ハ マ 兒玉智彦代表取締役社長、久富一雄常務取締役編成部長、平林
可鈴編成部長、小林信子編成部マネージャー

議題 FUTURESCAPE
(毎週土曜日 9:00～11:00)

議事の内容 前回（令和5年12月21日開催）の番組審議会より本日まで訂正、取り消しの放送が
なかったこと、また、放送内容に対する苦情・意見もなかったことを報告しました。
また、議題の番組審議会に入る前に、この4月に「民放連放送基準」の一部改正に伴い、
番組基準の変更を諮問。委員より「妥当である」との答申を得ました。
そして、議題の番組について、放送同録CDを聴いた後、各委員から感想、意見等を
聞きました。

審議の内容 まず、議題の「FUTURESCAPE」について、概要説明に入りました。

タイトル FUTURESCAPE

放送時間 毎週土曜日 9:00～11:00

放送形態 生放送

出演 小山薫堂、柳井麻希

内容 日本を代表する人気放送作家・脚本家である小山薫堂と、小山薫堂を時にはしっかりと、
時には面白くサポートする柳井麻希をDJに迎え、毎週一つの「モノ」「コト」「ヒト」など
をテーマに焦点を当て、リスナーの自由な発想とともに、現在（いま）の時代を愉快地探
求していく番組です。

<YOKOHAMA LANDMARK TOWER 30th Anniversary presents FUTURESCAPE CHRISTMAS SPECIAL>

◆放送日時：2023年12月23日 9:00～11:00 OA

横浜ランドマークタワー30周年とDJ 小山薫堂、柳井麻希のコンビ
での放送25周年を記念し、25年＝銀婚式をテーマに特別番組を
放送。会場である横浜ロイヤルパークホテルに30組60名のリスナー
を招待し、リスナーとの生のやり取りを交えながら放送しました。



<みんな知ってる？グリーンプリンティング！（提供：日本印刷産業連合会）>

◆放送日時：2023年9月2日～30日 OA（全5回）

環境に配慮した印刷工場で印刷された印刷物を認定するグリーンプリンティング。

小山薫堂が長年グリーンプリンティングPR大使を務める縁から、
期間限定のコーナーを展開。

リスナーにグリーンプリンティングで印刷されたPR用の名刺を
プレゼント。多数の応募がありました。



◆ 番組D J



【小山薫堂】

放送作家。脚本家。1964年熊本県天草市生まれ。大学在学中に放送作家としての活動を開始し、これまでに「カノッサの屈辱」「料理の鉄人」「東京ワンダーホテル」「ニューデザインパラダイス」など斬新な番組を数多く企画・構成。

初の映画脚本となる「おくりびと」では、第60回読売文学賞戯曲・シナリオ部門賞、第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第81回米アカデミー賞外国語映画賞を受賞した。

【柳井麻希】

1972年東京都生まれ。大学卒業後、アメリカ・シアトルでの国際ビジネス研修修了帰国後、バイリンガル放送制作を経てラジオパーソナリティに。

プロドッグトレーナーの資格を持ち、「殺処分ゼロ」を目標に保護犬をセラピー・ドッグに育成するプロジェクトに参加している。

※以上の概要説明に次いで、12月23日(土)放送のダイジェスト版を聴いて審議に入りました。

各委員より、次の感想、意見等をいただきました。

<各委員講評>

◎FMヨコハマの長寿番組ということで、25年続いているのは、本当にすごいと思う。

そして、2人の鉄板の掛け合いと、リスナーからの情報や話の広がり方、展開の仕方が素晴らしいと思う。

また、この番組のオープニングの長さが本当に好きである。薫堂さんが、ギリギリにスタジオ入りする話なども含め、どこまで話してしまうのだろうという内容が、とてもリスナーになじみやすく、それ故にDJとリスナーとのつながりが深くなる番組であると思う。これからもずっとこの繋がりを大事に続けていって欲しい。

◎リスナーからのメールの内容がとてもレベルが高いと思う。リスナーはメッセージを読んでもらうために、調べた内容や、すごく考えてメールを送ってきているのではないかなと思う。ためになること、役に立つことなど内容がとても素晴らしく、薫堂さんがそこに絡んで盛り上げ、時に役立たない話も交え、話を面白く仕上げてくれるので、とても心地良い。

◎DJ 2人の声やトーンが良く、また、内容も素晴らしいのがこの番組の良さである。

また、DJとリスナーの距離の近さをとても感じて、ファミリー感も出ていて、そこも魅力であると思う。時にDJが自虐的に話しているところが、また心地良く、緩い感じであるのも魅力であると思う。

今後は、若いリスナーが聴くきっかけを増やしていくために、若いゲストなどを呼んで、薫堂さんや柳井さんに何かを教える等の企画をしてそれをSNS展開してみるのも良いのかもしれない。また、番組連動イベントなどをやってみても面白いと思う。

◎小山薫堂が、立場的に多忙になった今でも毎週土曜日に生放送を続けていることはすごいと思う。

◎ラジオの理想のような番組であると思う。

◎のんびりとしたムードで進んでいくDJ 2人がとても良いと思う。

ただ、ゲストの金融教育家・田内さんが登場してからは、番組の雰囲気が変わって、DJ 2人も真剣にやり取りする変化が面白かった。田内さんとのやり取りからも感じたが、この2人のDJは、年齢や経歴から幅広い見識をもっていると感じたので、ゲストやテーマによって、番組から実のある色々な発信ができるのではないかなと思う。

◎DJ 2人の安定感は抜群にすごいと思う。柳井さんの見識の深さがあってこそ、薫堂さんが自由に話することができるのだと改めて思った。彼女からさりげなく出てくる言葉のひとつひとつが喋りのプロであると感じた。

◎ゲストに呼ぶ方が幅広いジャンルであり、番組スタッフや薫堂さんの人脈のすごさを感じるのもこの番組の特徴である。

また、どんな話題であっても話することができる薫堂さんの見識の深さが抜群で、聴いていて本当に楽しいと感じる番組である。

◎「Vaundy」から「たのきんトリオ」まで流すという遊び心のある選曲もまた面白い。

◎どのリスナーのメールに対しても、返答するメッセージが、短くなく長くなく絶妙な長さのコメントをしてくれるので、リスナーにとっては本当に嬉しいと思う。それがリスナーに愛される理由であるとも思う。

<局より>

◎若い世代にもっと聴いてもらうということに関しては、10代の若い世代からのメールは日頃からきているので、番組を特に大きく変えることなく、若い世代に聴いてもらえる土壌はすでにあると思っている。今後はゲストの人選などで間口を広げていって、より呼び込めていけたらと思う。

◎リスナーとの接点があるイベントなどは、DJの体力が持つ限り、やっていきたい。

◎ゲストの幅が広くても、この2人の腕があるので、誰がゲストでも大丈夫だと思うが2時間の番組を通して、メリハリがつくようにしていきたいと思う。

以上、15時50分に審議終了、散会しました。

審議機関の答申または改善意見に： なし
対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申または意見の概要： 各委員の意見及び回答を概容でまとめ公表。
を公表した場合におけるその公表 ①令和6年3月18日、04:55から3分間、当社で
の内容、方法、及びその年月日 放送。
②書面にて自社内に備置き
③令和6年3月18日、当社ホームページに掲載予定。
(<https://www.fmyokohama.co.jp>)

その他の参考事項： なし

以上